

## 新築等京町家部会について

## 1 新築等京町家部会について

## (1) 開催状況

- ・ 第1回 新築等京町家部会 平成30年11月 7日(水) 18:00~20:00
- ・ 第2回 新築等京町家部会 平成31年 1月25日(金) 18:00~20:00
- ・ 第3回 新築等京町家部会 // 3月14日(木) 18:00~20:00

## (2) 委員 (平成30年度)

(◎: 部会長, 五十音順, 敬称略)

氏名	所属等
伊庭 千恵美	京都大学大学院 工学研究科 准教授
内山 佳之	公益社団法人 全日本不動産協会 京都府本部 理事
梶原 義和	公益社団法人 京都府宅地建物取引業協会 副会長
木村 忠紀	京都府建築工業協同組合 理事長
◎ 高田 光雄	京都美術工芸大学 工芸学部 教授
中嶋 節子	京都大学大学院 人間・環境学研究科 教授
宗田 好史	京都府立大学 生命環境学部環境デザイン学科 教授
若村 亮	株式会社らくたび 代表取締役

※ 新築等京町家の基準をより広く普及するものとしていくため、平成31年度は、民間の住宅供給事業者にオブザーバーとして参画していただくことを予定。

## 2 継承・発展させていくべきもの

別紙参照 (第3回 新築等京町家部会資料より抜粋)



1 継承・発展させていくべきもの

目的	目的の掘り下げ	敷地レベル	まちレベル	都市レベル	社会システム
①生活文化の継承と発展 ・自然との関係	暮らしの中で四季や自然を楽しむ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなかでも、緑や自然の光と陰影を楽しむことができる工夫（庭の設置等）</li> <li>・四季折々の祭事など、季節を楽しむ暮らしの知恵（祭事、季節ごとのしつらえ等）</li> <li>・自然を活かした健康にもやさしい工夫（通風経路の確保・採光・軒庇による日射遮蔽等の建物側でできる環境調整の工夫、自然素材の活用）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣地との協調（庭の連続など）による日照、通風の確保</li> <li>・地域の祭事、年中行事の舞台（地蔵盆等）</li> <li>・多様な価値観の共存（毎日のあいさつ、清掃、近所づきあいの知恵や約束事）</li> <li>・防災への配慮（庭等の空地の確保、建物による防火帯の形成）</li> </ul>	安心安全で暮らしやすく、魅力や活力のあるまち <ul style="list-style-type: none"> <li>・高密度な市街地を形成する大都市</li> <li>・豊かな自然と共生するまち</li> <li>・ヒューマンスケールなまち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家事の役割分担や祭事を通した暮らしの文化の伝承</li> <li>・地域住民による福祉活動（弱者を地域で見守るなど）</li> <li>・職住共存・近接</li> </ul>
	地域とつながりを持つ（コミュニティ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会とのゆるやかなつながり（座敷や玄関等での接客、おもてなし。格子の緩やかな目隠し機能等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災への配慮（庭等の空地の確保、建物による防火帯の形成）</li> </ul>		
	都心に集まって暮らす（都市空間のつくりかた）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣への配慮（開口部の位置、近隣の日照・通風を阻害しない等）</li> </ul>			
・まちとの関係	物を大切に使いながら住まう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフスタイルの変化に対応できる可変性</li> <li>・メンテナンスのしやすさ</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・循環型の建築システム（既存部材や建具の再利用ができるなど）</li> </ul>
②趣のある町並みの形成 ・まちとの関係	各地区毎の方針による ＜例＞旧市街地型美観地区 京町家等の歴史的建造物との調和	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洗練された繊細なデザイン（京格子等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統一感のある町並み（家並み、スケール感、建物配置）</li> <li>・まちになじむデザイン（表構えの共通する要素、地域性等）</li> <li>・地割りの継承</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都心の賑わいと歴史的な都市空間の共存</li> <li>・「盆地景」を基本に自然と共生する景観形成</li> </ul>	
③伝統技術・技能の継承	伝統技術・技能の仕事の場が増えることで、職人が育ち、伝統構法が新築の選択肢の一つになるとともに、既存京町家の保全継承につながる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木組み、左官、畳等の伝統技術・技能</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・出入りの大工による定期的な点検</li> <li>・仕事を通じた技術・技能の継承</li> </ul>
実現するための手法		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新築等京町家の基準</li> <li>・新築等京町家の認定等の支援策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新築等京町家の基準</li> <li>・新築等京町家の重点エリアの設定等の支援策</li> <li>・形態意匠の制限（景観デザイン基準）</li> <li>・住民主体のまちづくり（地区計画、建築協定、自主協定等）</li> <li>・防災まちづくり、路地の保全再生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保全・再生・創造の土地利用（都市計画）</li> <li>・眺望景観や借景の保全（景観政策）</li> <li>・人と公共交通優先のまちづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住教育による暮らしの文化の継承</li> <li>・健康・福祉等に関するまちづくり活動</li> <li>・職人の育成</li> <li>・モジュールのあり方の検討</li> </ul>